



動物図鑑ドリル問題 07

無セキツイ動物 昆虫類 不完全変態のもの

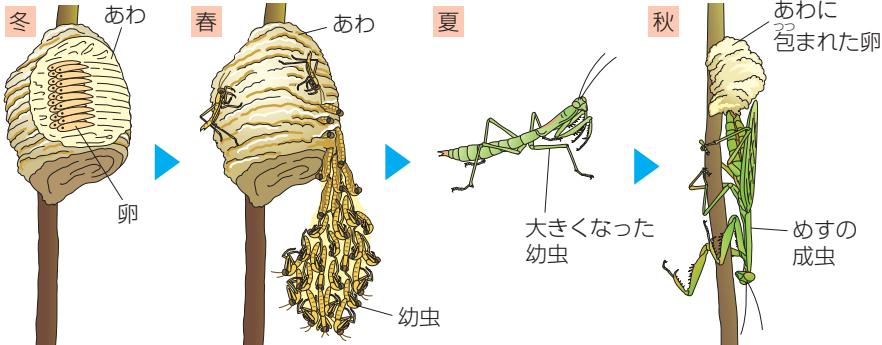
オオカマキリ



オオカマキリは、草むらなどでよく見られるカマキリです。敵が近づくと、(1)を広げてかまのような大きな前あしを上げ、いかくします。

成長のようす

オオカマキリなど、カマキリは(2)です。卵が(3)すると、幼虫は(4)をくり返しながら成長します。やがて幼虫は(5)し、成虫になります。



オオカマキリは、(6)に包まれた(7)のすがたで冬ごしします。(8)になると、あわの中で卵が(9)し、幼虫があわの外に出ます。幼虫は(10)から(11)にかけて(12)し、成虫になります。(13)には成虫が(14)などに、あわに包まれた(15)を産みつけます。

+プラスワン

オオカマキリなどのように、卵があわに包まれていると、卵がかわいたり、^{さむ}寒さでこおったり、ほかの動物に食べられてしまったりしにくくなります。

食べ物とすみか

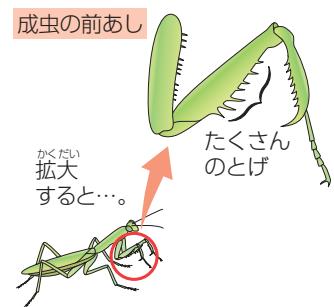
オオカマキリの幼虫と成虫は、草むらなどにすみ、(16)などを食べます。

+プラスワン

オオカマキリは、草むらにいるほかの昆虫をつかまえるとき、気づかれないようにそっと近寄ります。オオカマキリのからだが草にまぎれる色をしているのは、ほかの昆虫に気づかれないようになります。

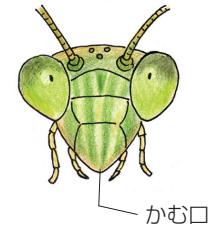
からだのつくり

オオカマキリの幼虫と成虫の前あしは、大きな(17)のような形をしています。(18)もたくさんあります。昆虫をつかまえやすくなっています。



オオカマキリの幼虫と成虫はほかの昆虫などを食べるため、(19)です。

成虫の口



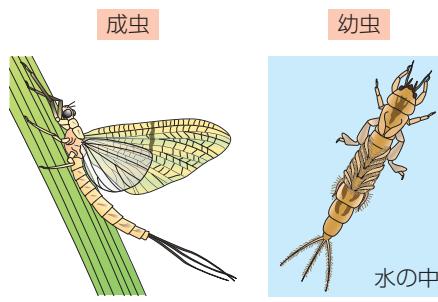
(注意) 本ドリルでは入試問題を掲載しておりません。

カゲロウ

★★★

カゲロウのなまは、成虫の寿命が数時間～数日間とても短い昆虫として知られています。

カゲロウは(20)です。(21)に産みつけられた卵が(22)すると、幼虫は(21)で(23)をくり返しながら成長します。やがて(24)して成虫になります。成虫は水の中に産卵します。



+プラスワン

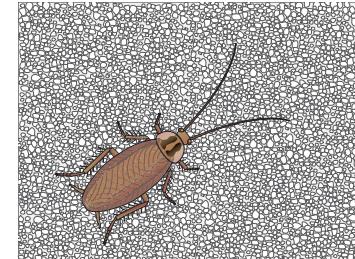
カゲロウの幼虫はえらをもち、水の中にとけた酸素を使って呼吸します。カゲロウの一種であるヒラタカゲロウの幼虫はきれいな水のある所にしかすまないので、ヒラタカゲロウの幼虫が生息しているかどうかが、水のきれいさを判断するのに使われることがあります。

ゴキブリ

★★★

ゴキブリのなまはさまざまな場所にすみ、植物や動物の死がいなどいろいろなものを食べる昆虫です。人家にすむものもいます。おもに(25)に活動します。

ゴキブリは(26)です。



+プラスワン

ゴキブリは、3億年ほども前からほとんどがたをかえずに生き残っている昆虫です。そのため、「生きた化石」といわれることがあります。

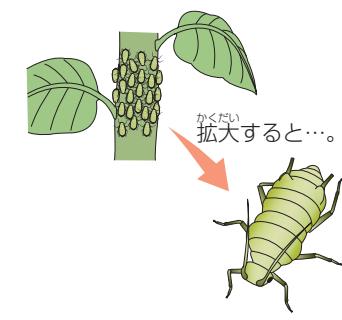
アブラムシ

★★★

アブラムシのなまは、いろいろな(27)を吸って生きる小さな昆虫です。植物の(28)や(29)に何匹もくっついているのが見られます。アブラムシによって農作物にひ害が出ることもあります。

アブラムシは「アリマキ」とよばれることもあります。

アブラムシは(30)です。



+プラスワン

アブラムシには、アリと助け合って生きているものもいます。アブラムシは、天敵であるテントウムシなどの昆虫から、アリによって守られます。守ってもらうかわりに、アブラムシはからだから出すあまいしるをアリにあたえます。

